

## 豊田 PCB 処理事業視察実施結果

### 1 視察日程

平成 27 年 11 月 12 日（木）～ 13 日（金）

### 2 視察先及び内容

- (1) 豊田 PCB 処理事業所（愛知県豊田市細谷町 3-1-1）  
施設見学、操業状況の確認
- (2) 豊田市役所（愛知県豊田市西町 3-60）  
行政担当者との意見交換
- (3) J R 東海浜松工場（静岡県浜松市中区南伊場町 1-1）  
PCB 廃棄物専用保管庫見学、搬出計画の確認

### 3 視察参加者

座長 浅岡 佐知夫

委員 大石 紀代子、古柴 敏夫、嶋津 元彦、津田 潔、  
成田 裕美子、古野 和彦、吉永 耕二

### 4 視察内容（主な意見・質疑応答等）

#### (1) 豊田 PCB 処理事業所見学

##### 【施設見学中の質問事項】

（○：北九州市監視会議委員発言、●：JESCO 豊田事業所長発言）

○ 蒸留塔は当初から設置されていたのか。

● 施設建設当初から蒸留塔を設置している。

○ 車載トランスの処理について、1 台あたり 10 日も要している要因は何か。

● 車載トランスは、大型ということもあり洗浄液が回らずに予備洗浄に長時間を要す。このため、予備洗浄の時間を短縮するために予備洗浄用ステージを増設して対応している。

○ 安全対策に関して、どのような取組みを行っているのか。

● 従業員一人ひとりに災害を防ぐための手段を考えさせるような場を設けているほか、作業グループ間で相互パトロールを行い、作業工程における疑問点や改善点などを発見させる取組みを行っている。

- 活性炭設置箇所の測定はどの程度の頻度で行っているのか。
- 活性炭の入口、中間、出口で月 1 回測定している。活性炭は測定データを基に交換を行っているが、1 ヶ月半から 2 ヶ月に 1 回は交換している。
- 「豊田 PCB 廃棄物処理事業だより」は、毎月発行しているのか。地域の理解に向けた取組として何か行っているのか。
- 情報発信に努めるという意味で、毎月発行し、施設の運転状況や地域活動等を紹介している。このほか、地域の方々を対象にした施設見学会を行うなど、地域との積極的な交流を行っている。

[施設見学の模様]



## (2) 豊田市行政担当者との意見交換

### 【議題 1：豊田市 PCB 処理安全監視委員会について】

- 豊田市行政担当者から、当該委員会は、周辺自治区代表、学識経験者のほか、周辺企業代表も委員として選任している。また、漏洩事故等が発生したときなど、機動的に対応するため、作業部会を設置しており、部会委員は、学識経験者と機械設備等の造詣の深い周辺企業代表で構成していると説明があった。
- 作業部会の位置付けと、どのような活動を行っているのか、という本市監視会議委員からの質問に対し、豊田市行政担当者から、トラブル発生時などの際等に技術的な意見、助言をいただき、それを参考に JESCO が改善策を検討する体制を取っている。必要に応じて現場視察や会議を開催しているとの回答があった。
- 本市監視会議委員から、周辺企業代表が委員として監視委員会、作業部会で選任されていることは、現地企業との技術連携が活動に生かされているとの意見があった。

## 【議題 2：豊田市 PCB 廃棄物処理の現状について】

- 本市監視会議委員から、再び延長することがないように、豊田市も掘り起こし調査に力を入れて欲しいとの要望を行った。事務局からも、北九州 PCB 処理事業所への豊田事業エリアの車載トランスや安定器等・汚染物の搬入については相当な理由がない限り計画的処理期限以降の受け入れは行わないことを踏まえて、取り組んで欲しいと併せて要望を行った。
- 要望に対し、豊田市行政担当者から、処理状況が 90%になってからが、更にきめ細やかな作業が必要になると認識している。早期に保管事業者のところに出向き、直接指導を行う予定であるとの回答があった。
- 処理施設でのトラブル発生時の市民への対応はどのように行っているのか、という本市監視会議委員の質問に対し、豊田市行政担当者から、トラブル発生時は速やかに公表し、市民には自治区会を通して説明を行っているとの回答があった。

## 【その他】

- 本市監視会議委員から、豊田事業エリアにおいて、様々な課題に対応している状況を踏まえると、延長期間も含め、PCB 処理が安全かつ一日も早く進められるためには、事業エリア間の行政部門・安全監視委員会との情報共有や連携した取組が重要であると意見があった。
- 豊田市行政担当者からも、今回の意見交換会を契機に、より連携を行っていききたいと意見があった。

### 【意見交換会の模様】



### (3) JR東海浜松工場見学（豊田市 PCB 処理安全監視委員会と合同実施）

#### 【施設見学中の質問事項】

（○：北九州市監視会議委員発言、●：JR 東海浜松工場担当者発言）

- PCB 廃棄物専用保管庫の広さはどのくらいか。また、どのくらいの保管量があるのか。
- 広さは約 2,400 m<sup>2</sup>であり、車載トランス 475 台、安定器 75.8kg、低圧コンデンサ 87.8kg 保管しており、当該工場の保管量は、JESCO 対象事業所では最大規模である。
- 低圧コンデンサについて、3kg 以上のモノは豊田 PCB 処理事業所で処理を行うこととなっているが、その処理が北九州 PCB 処理事業所に回ってくることはないか。
- ないと考えてもらってよい。
- 車載トランスは、長距離輸送における安全性の懸念、運搬費用低減等を鑑み、豊田 PCB 処理事業所において 1 台でも多く処理していく考えとのことだが、北九州への搬出台数が減ることもあるか。
- 豊田 PCB 処理事業所の処理計画が上回った際には、その分、北九州 PCB 処理事業所への搬出台数を低減する。

#### [PCB 廃棄物保管庫見学の模様]



#### [搬出準備中の車載トランス]

